



自然豊かでジオパークの一部にもなっている長岡中学校には、敷地内に露頭があり、地層を観察することができます。（露頭とは、岩や地層などが見えているところのこと）じっくり観察すると斜交層理という水流のあとが見られます。地層は、学校の坂と、校舎裏にあります。

現在は高い所(海拔60m)にある長岡中は昔、海の中にあったのです。

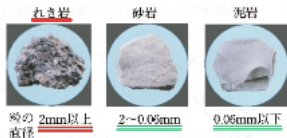


### 「岩石の種類」



←長岡中のれき岩

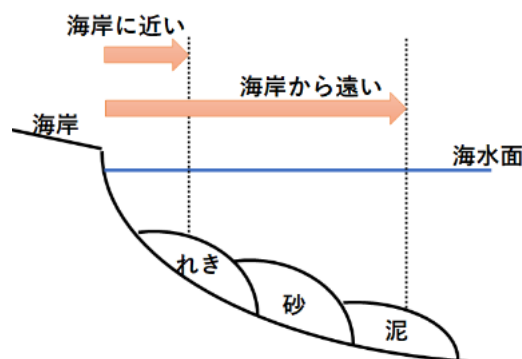
▼れき岩・砂岩・泥岩



### 「岩石からわかる歴史」

長岡中学校の地層に含まれる岩石を調べたところ、直径2mm以上の粒を多く含んでいる。このことから、この岩石はれき岩ということが判明します。

れきは浅い海に堆積するので、長岡中は元々浅い海だったことがわかります。



### 「伊豆半島のすごいところ」

長岡中はジオパークの一部になっており、伊豆半島の歴史がわかります。そんな伊豆半島は、プレートというものに3つもはさまれています。（プレートとは地球をおおっている岩盤のこと）

日本は4つのプレートにはさまれているのでほとんどのプレートが伊豆半島と接していることがわかります。

伊豆半島って意外とすごいんです!!

### 「日本に接しているプレート」



←接しているプレート

○は、静岡県周辺

### 「伊豆半島の成り立ち」



### 「伊豆半島の成り立ち」

静岡県にある伊豆半島ですが、元々離れていたのです。

伊豆半島は昔、800kmも離れたはるか南の海底火山だったのです。それがフィリピン海プレートの移動にともなって日本に接近し今のような静岡県の形になりました。

伊豆半島は現在もお本州に押し続けられていて、このような緩やかな地殻変動が伊豆の大地の多様性を育てているのです。伊豆半島のような半島は世界のどこを探しても例を見ない地球上の特異例ともいえる場所になっています。そのため、伊豆半島はジオパークに認定されているのです。

### まとめ・感想

伊豆半島が世界で他に例を見ないすごい所だということを今回初めて知りました。

伊豆半島の歴史と長岡中の良さがまとめられました。

フィリピン海プレートの移動で今の静岡の形ができたことがわかりました。